



ママのスマホになりたい！

シンガポールの小学生が、大きくなったらなりたいたいものについて作文を書きました。サッカー選手になりたい、消防士になりたい、お花屋さんになりたい、そういう作文の中に「ママのスマホになりたい」という作文がありました。

『パパは帰ってくると、すぐにゲームをします。ママはスマホに電話がかかってくるとすぐに出ますが、僕がねえねえと言ってもすぐに答えてはくれません。僕のパパとママはスマホが大好きです。だから僕はスマホになりたい。』という内容です。

「もっと僕のことを見て!」、「もっと僕の話聞いて!」と言う子供の切ない願いが伝わってきます。子供はもっと自分に関わって欲しいと思っているのです。

子供たちとスマホとの関わりを考える時、それは子供だけの問題なのでしょうか。そうではありません。親自身もスマホの関わり方について振り返ることが必要です。1日5分でも、10分でも、子供の目を見て話を聞いてあげてください。



『ママのスマホになりたい』
のぶみ さく/WAVE 出版

この作文を元に描かれた絵本です。
パパや子供に関わる大人にも伝えたい内容です。
* 町立図書館で所蔵しています。



コントロールする力を身に付けさせましょう！

これまで教育委員会や学校が行ってきた電子メディアの指導は、「～しない」という禁止や抑制を中心としたものでした。

今後益々ICT環境が整備され、電子メディアがより身近な存在、あるいは生活の一部となることを考えると、禁止だけでなく、子供たちが主体的に考え、行動し、自らを律する力を育成することが必要です。言い換えると、子供たち一人一人が自分の心の中にアクセルとブレーキを作って上手に電子メディアに関わっていくということです。

子供たちがこうした力を身に付けるため、これまで以上に学校、家庭、地域、行政や関係機関が連携を深めていきたいと思えます。





G I G A (ギガ) スクールとは？



Society5.0 (ソサエティ 5.0) という言葉

をお聞きになったことはありますか？

我が国が目指す未来の姿で、AI(人工知能)やIoT(モノのインターネット)、ロボット技術を中心とした先端技術を活用して様々な課題を解決し、人々が豊かに暮らす社会のことを言います。

現在自動運転システム、遠隔医療、無人店舗、無人トラクター等が少しずつ実用化されてきましたが、これからはもっと多くの分野で様々な技術開発が進められるものと思います。

子供たちが活躍する社会は Society5.0 (ソサエティ 5.0) の社会です。今後予想される変化の激しい社会の中で、子供たちが変化に主体的に対応し、自らの力を発揮して自立的に生きることが大切になります。

そのためには、これまでの教育活動を土台に、最先端の ICT を導入・活用して質の高い学びを実現し、これから必要とされる資質や能力を子供たちに確実に育成していかなければなりません。

これまでの勉強道具は鉛筆やノート等でした。しかし令和の時代に入り、それらに PC 端末(タブレット)も加わることになります。これからは一人一人が自分の PC 端末を使って、調べ学習、表現・制作、遠隔教育、情報モラル教育等の学習を行っていきます。こうした学校における ICT の充実に関わる取組みを GIGA(ギガ)スクールと呼んでいます。



私たちの周りには、パソコン、スマホ等様々な電子メディアがあります。それらは使い方によって便利なツールにも、危険なツールにもなります。現在子供たちと電子メディアとの関わり方は家庭だけの問題ではなく、社会全体で考えなければならない大きな問題となっています。

正解のない難しい問題ですが、この情報紙がみなさんでよりよい方向について考えるきっかけになれば幸いです。タイトル「ルイカ」は、アイヌ語で「架け橋」という意味です。学校、家庭、地域をつなぐ架け橋になりたいという思いを込めました。

